

外務省主催「地域の魅力アップセミナー」へ

2018年12月5日

大山の紅葉も終わりました。

今年は色づきが遅れて、ライトアップが終わった後の方が鮮やかな木もあつたりしましたが、幸い天候にも恵まれ、連日大勢のお客様にお越しいただき、誠にありがとうございました。

12月に入り一息入れる間もなく、12月5日に東京目白の椿山荘で、外務省が主催する「地域の魅力アップセミナー」が開催されました。

これは、日本国内に駐在されている外交官を対象に、都道府県単位で地域の魅力を発信して交流を深めるというイベントで、神奈川県からお誘いにより本市の魅力紹介の為に、大山豆腐の冷奴を用意して参戦してまいりました。



椿山荘バンケット棟1階でイベントは開催されました。

内容は第一部として今回参加の神奈川、栃木、茨城、静岡の各県が、15分ずつ各県の魅力をアピールし、その後会場を隣室に移して第二部の交流会というスケジュールです。



受付に各国の外交官の方々が到着されてきました。

今回はアルバニアやイエメンを始めとする66公館97名の外交団の他、団体、企業、自治体等々、全部で200名近い参加申し込みがありました。



神奈川県の講演は他県と趣を異として、「禅」を今に伝える～禅の源流・神奈川～というタイトルで、県内のお二人の僧侶の方が流暢な英語で講演し、椅子に腰かけたまま行う禅も体験するなど大いに盛り上がりました。

この写真は僧侶の登場前の県職員による introduction です。



第二部交流会のスタート前の神奈川ブースの様子です。

参加各県では名物の料理を用意し、趣向を凝らしてアピールします。

神奈川では「大山豆腐の冷奴」の他、「三崎鮪の握り寿司」、「葉山牛のメンチカツ」
「三浦野菜の天ぷら」等々の自慢のご馳走が並びました。



勉強のために同行した市商工観光課I主事も白い行衣姿で、大山豆腐の魅力を懸命
のアピールします。

「お醤油は余りかけないでお召し上がりください」勿論英語です。



大勢の参加者で広い会場も熱気がムンムンです。

写真は撮り損ねましたが、神奈川県は料理以外で、正面ステージで小田原の誇る「風魔忍者ショー」を、また体験ブースでは「写経」が行われ、どちらも人気を博しました。

今回のイベントを契機として神奈川県(本市!)に沢山の観光客が訪れることを期待します。